

炎症性腸疾患においては、抗 TNF- α 抗体製剤治療の登場により、これまでの治療目標であった「短期間の臨床症状の改善」は過去のものとなり、「粘膜治癒」、すなわち内視鏡などでの寛解が、慢性疾患の経過を変えられるという考え方が出て、治療は劇的に変わった。この考え方は論文上の言葉遊びではなく、実臨床でも「粘膜治癒による長期経過の改善」を治療目標とすべき時代に入っている。しかし、現実には日常診療において、本号で取り上げられた画像診断等を行うことは決して容易ではない。modality の進歩に甘んずることなく、専門医以外でも「粘膜治癒」という治療目標を達成するための新しい血液、糞便マーカー等の検査技術の開発、改良は必須である。世界に類を見ない modality をもつ日本でこそ、たとえば便潜血定量検査のような潰瘍性大腸炎の「粘膜治癒」をほぼ推定させる検査法の開発、クローン病の活動性病変を推定させる新しい超音波技術の改良等に着手する気概をもってほしい。また、診断だけでなく、「粘膜治癒」そのものを標的とした世界初の「腸幹細胞オルガノイドを使った再生医療」が始まろうとしており、今後も新しい切り口「粘膜治癒」で炎症性腸疾患治療開発にも取り組んでいただきたい。

渡辺 守

(東京医科歯科大学消化器内科)

INTESTINE

Vol.22 No.4

©2018 年 7 月 20 日発行

定価(本体 2,850 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center Inc.

© 2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541